

第 34 回 PCV 漏えい試験検討会 議事録

1. **開催日時** 2021 年 12 月 14 日 (火) 13 時 30 分～15 時 30 分
2. **開催場所** 一般社団法人 日本電気協会 4 階 C 会議室 (Web 会議併用)
3. **出席者** (順不同, 敬称省略)
出席委員: 越智主査(関西電力), 松田副主査(東京電力 HD),
井口(発電設備技術検査協会), 今泉(日本原子力研究開発機構),
今村(日立 GE ニュクリア・エナジー), 大口(電源開発), 小川(北海道電力),
鬼塚(東芝エネルギーシステムズ), 高永(三菱重工業), 高橋(東北電力),
福留(中部電力), 西村(関西電力), 堀内(九州電力), 松浦(四国電力),
堀水(原子力安全推進協会), (計 15 名)
代理出席者: 鶴巻(日本原子力発電, 油布委員代理) (計 1 名)
欠席委員: 田原(中国電力), 藤井(北陸電力) (計 2 名)
事務局: 景浦, 佐藤, 田邊 (日本電気協会) (計 3 名)
4. **配付資料**
資料 No.34-1 原子力規格委員会 構造分科会 PCV 漏えい試験検討会 委員名簿
資料 No.34-2 第 33 回 PCV 漏えい試験検討会議事録 (案)
資料 No.34-3 JEAC4203-2017 技術評価対応の概要
資料 No.34-4 PCV 漏えい試験検討会 活動スケジュール
資料 No.34-5 JEAC4203-20XX(原子炉格納容器の漏えい率試験規程)改定ニーズ調査表
資料 No.34-5-1 JEAC4203-20XX 改定ニーズ調査表 補足説明資料
資料 No.34-6 JEAC4203-2017 技術評価書 (R3,7,21) における要望事項一覧表
資料 No.34-6-1 JEAC4203-2017 技術評価書 要望事項一覧表 補足説明資料

5. 議事

事務局より, 本会にて, 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認の後, 議事が進められた。

(1) 代理出席者の承認, オブザーバ等の確認, 会議定足数, 配布資料の確認について

事務局から, 定足数確認時点で, 委員総数 18 名に対して, 代理出席者を含めた出席者は 16 名であり, 分科会規約第 13 条 (検討会) 第 15 項に基づき, 会議開催条件の「委員修 2/3 以上の出席 (12 名以上)」を満たしていることを確認した。また, 事務局より配布資料の確認を実施した。

(2) 前回議事録の確認

事務局から, 資料 34-2 に基づき, 前回議事録案の紹介があった。その後, 正式議事録にするかについて決議を行い, 決議の結果, 全員賛成で承認された。

(3) 報告事項

1) JEAC4203-2017 技術評価について

主査より、資料 34-3 に基づいて、JEAC4203-2017 技術評価について説明があった。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 特になし。

2) 2022 年度活動計画について

主査より、資料 34-4 に基づいて、2022 年度活動計画について説明があった。

主な説明は下記のとおり。

- ・ JEAC4203 が 2017 年に発刊されている。規格については「改定要否の検討作業を 5 年以内で定期的に行う」(規約細則 4.7 より) こととしており、2022 年度改定を目指して作業を進めていたが、2017 年版が技術評価対象となり、2020 年度と 2021 年度は技術評価対応を実施していたことから、構造分科会への報告も考慮した上で、2 年程度、定期改定時期をずらし、2024 年度に定期改定を実施しようと考えている。
- ・ 現状において本規程の改定を 2022 年度に実施しなければいけない技術的懸案等はないという認識である。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 特になし。

3) SA 圧力における CV-LRT の検討について

主査より、SA 圧力における CV-LRT の検討について説明があった。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 特になし。

(4) 審議

1) JEAC4203-20XX 改定について

主査及び各委員より、資料 34-5,6 シリーズに基づいて、改定ニーズ調査表及び 2017 技術評価書における要望事項一覧表について説明があった。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

<資料 34-5 No.10 (Pd の定義)>

- ・ Pt は低圧試験の圧力ということか。

→ JEAC4203 では低圧試験の圧力を Pt にしており、 $0.9Pd=Pt$ にすると定義が被るので、別の記載を検討する。

<資料 34-5 No.19 (フィルタベント系統の BC 種)>

- ・ 各委員にお願いだが、資料 34-5 の No.19 に関して、各電力のフィルタベント系統のリークレートの考え方を連絡してほしい。また九州電力に関しては複数の選択肢があるという話を聞いているので、実施方法について教えてほしい。

→ まだリークレートの考え方の整理が終わっていない電力会社もある。

→ 既に設計が完了しているプラントの情報を収集するということにした方が良い。

→ それでは締切日を 2022 年 1 月中とする。PWR は主査、BWR は副主査まで連絡願う。

<資料 34-5 No.26 (CV 隔離弁における逆止弁の扱い) >

- ・ PWR では、CV 内側の CV 隔離弁として逆止弁が存在するが、BWR でも同様の系統があるか調査し、2022 年 1 月中に主査まで連絡すること。

<資料 34-6 No.9,10 (漏えい量グラフ) >

- ・ プロットの数や範囲が適正ではない。プロットの本数は 1 時間毎、範囲は 24 時間までのグラフに修正すること。

<資料 34-6 No.17 (水銀計器) >

- ・ 水銀計器については、現状は使用していないと考えているが、予備として保管しているプラントもあると聞いている。そこで、PWR 電力にて水銀計器を使用・保管しているか否か調査し、2022 年 1 月中に主査まで連絡すること。

(5) その他

- ・ 次回第 35 回 PCV 漏えい試験検討会は 2022 年 3 月 22 日 13 時 30 分から開催する予定。

以 上